



グラミー賞アーティストが名古屋にやってくる！ 一緒にゴスペルを楽しみましょう♪

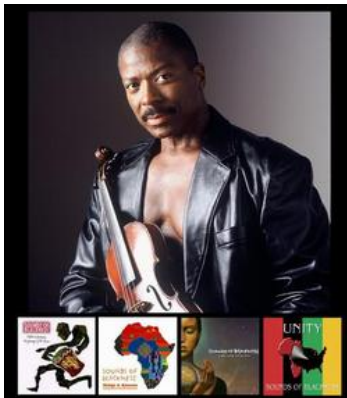
会場：在日大韓名古屋教会（名古屋駅）

たくさんの方とゴスペル=Good News をわかちあえますように！

スピリチュアルズ（黒人霊歌）・ワークショップ&コンサートのご案内

Our Special Guest **GARY HINES** from USA

スピリチュアルズ・ワークショップ講師 スピリチュアルズ・コンサート スペシャルゲスト（コンダクター）



GARY HINES（ゲイリー・ハインズ）

Sounds Of Blackness（以下 SOB）の創始者であり、リーダー。今回のワークショップ&コンサートでは、指導とコンダクター（指揮）を務める。SOB は71年に現在の形となって以来35年以上というゴスペル界でも随一のキャリアを誇る。過去にグラミー賞3度、ソウル・トレイン賞など多数を受賞。前作 CD「UNITY」もステラ賞（黒人音楽のグラミー賞と呼ばれる）の最優秀コンテンポラリー・ゴスペル・クワイアに選ばれるなどの超本格派。ハインズ氏は、黒人音楽について全体的な視点から語る事の出来る知識とバランスの取れた知性を備える優秀なるコンダクター（指揮者）と定評がある。その他、プリンスからジャネット・ジャクソンまで多くの有名シンガーのプロデュースをはじめ幅広く活躍している。

<<THREE GRAMMYS>> 1991 "The Evolution of Gospel" / 1993 "Soulful Celebrations" / 1998 "The Apostle" Soundtrack
<http://www.soundsofblackness.com/>

Guests 大阪・東京・新潟そして地元からゴスペル・アーティストが大集合



市岡裕子



Bee 芦原



黒澤まりさ



Bro.taisuke



兼松弘子



MAU

Musicians プロミュージシャンがコンサートをバックアップ



Larry Ransome
(Dr)



Warren Alston
(Kb)



Derrick Thomas
(Bs)



佐藤 美香(Kb)

Workshop Choirs（聖歌隊）ゴスペルにカづけられた人々が、あなたにその醍醐味を伝えます



スピリチュアルズ・ワークショップ・クワイア / GMWC Men's Choir / GPM キッズ（友情出演）
初心者から経験者まで多様な参加者たちが、ゲイリー・ハインズ氏によってどのようにまとめあげられるのかが楽しみ

Jazz、R&B、Soul、HipHopのルーツは ブラック・ゴスペルとアフリカのリズムだ ルーツ・オブ・ゴスペル

< ゴスペル・ワークショップ (体験講座)、コンサートのご案内 >

ゲイリー氏に生きた音楽を伝授してもらおうチャンス。ゴスペルの心得がなくても、配布された歌詞をみながらゴスペル特有のコール・アンド・レスポンスの手法を使い、耳で覚えて歌っていきます。いつもは、聴いているだけのあなたもこの日だけはセッションを楽しみながらゴスペルシンガーに！ ゲイリー氏は、技術的な指導もさることながら、自分たちのルーツ「スピリチュアルズ (黒人霊歌)」を決してないがしろにしないところも魅力で、ジャズやブルース、R&Bなどの根源をたどる旅にいざなってくれることでしょう。会場も名古屋駅から歩いて5分で便利です。わずかな時間ですが、この機会に是非、グラミーアーティストとの楽しいひとときをお過ごしください。そして、たっぷりと心に栄養を受けとって充実した秋を過ごしましょう！

<全体スケジュール>

11/2(日)	11/3(月祝)		
18:00~20:30 事前ワークショップ①	10:00~12:00 事前ワークショップ②	13:30~16:00 スピリチュアルズ・ ワークショップ	18:00 開場 18:30~ スピリチュアルズ・ コンサート
一般 5000 円 (コース 22 歳以下 3000 円) ※どちらか 1 回の参加でも同料金です	一般 5000 円 (コース 22 歳以下 3000 円)	一般 5000 円 (コース 22 歳以下 3000 円)	一般 1800 円 (コース 22 歳以下 1000 円)

● ゲイリー・ハインズ氏による スピリチュアルズ・ワークショップ&コンサート

☆11/3(日)13:00~、ゲイリー氏と楽しく過ごそう！ スピリチュアルズ・ワークショップ&コンサート

(言語：英語&日本語)



☆スピリチュアルズ・ワークショップ(ゴスペル体験講座)

11/3 (月祝) 13:30~16:00 参加費 5000 円 (コース 22 歳以下 3000 円)

ゲイリー・ハインズ氏から直接指導を受けながら、ハーモニーを作り上げていきます。彼の的確な指導で短時間でもゴスペルの醍醐味を味わえます。トータルコーディネーターの市岡裕子さんの日本語通訳がつかますので安心。時間がある方は事前ワークショップ(下記)もお勧め。気持ちに余裕を持ってゲイリー・ハインズ氏とのコラボレーションが楽しめます。

☆スピリチュアルズ・コンサート

出演するもよし、聴くもよし！ ゲイリー・ハインズ氏をスペシャルゲストコンダクターに迎え、ワークショップ・クワイア、GMWC 新企画メンズ・クワイア(男性のみで構成されるゴスペルユニット)等、国内で活躍するトップクラスのゴスペルアーティストたちとのコラボレーションをお楽しみください。

11/3 (月祝) 18:30 スタート (18:00 開場)

入場券：一般 1800 円、コース 22 歳以下 1000 円 (全席自由/300 席)

※コンサート出演者は無料！

※ローソンチケット：Lコード 41961 (電話 0570-084-003・自動音声 24 時間対応)

● もっと歌いたい！予習をしておきたい！コンサートに出たい！

☆11/2(日)18:00~、11/3(月祝)10:00~ mic's 事前ワークショップ①②

(言語：日本語)

ゴスペルプロダクションミックの指導でスピリチュアルズ・ワークショップ予習のチャンスが2回あります。このワークショップに出ると、ゲイリー・ハインズとともにコンサートにも出演できます。

①11/2(日)18:00~20:30 / ②11/3(月祝)10:00~12:00

参加費 5000 円 コース 22 歳以下 3000 円 (①②のどちらにも参加できます)

指導：佐藤美香 (ゴスペルプロダクションミック)



体験講座で、あなたもゴスペルシンガーに!?

That's Gospel, 楽しみ方いろいろ! <おすすめのポイント>

●等身大でグラミー賞アーティストとのコミュニケーションができる

大物アーティストは、普段大きなコンサートホールやライブ会場のステージ上の遠い姿を見守るしかありませんが、今回は 300 席のこじんまりとした会場ですので、ゲイリー・ハインズ氏のすべてを間近で感じることができます。ワークショップにおいては、参加者に向かって様々な歌や演奏に関するさまざまなアドバイス、彼の音楽観や人生観が語られます。等身大で一流アーティストと交流できるめったにない機会です。

●ワークショップで、ゴスペルシンガー体験! Sounds of Blackness になったような気持で歌える!?

ゴスペルには興味があるけれど、習い事に時間を割くほど暇じゃない…。そんなあなたにぴったりの企画です。しかも、指導は米国メジャーシーンでも有名なゲイリー・ハインズ氏。ゴスペルシンガー 1 日入門のような気持で取り組みます。彼から直接指導を受け、仲間たちとハーモニーやリズムをまとめていく醍醐味はなにものにもかえられないはず。楽譜を使わず歌詞をみながら耳で覚えるゴスペル特有のコール・アンド・レスポンスで覚えます。日本語通訳もつので言葉の心配はありません。CD で聴く "Sounds of Blackness" の音楽がどのように仕上げられていくのかを体験するチャンス。時間の許す方は 11/2-3 の事前ワークショップにもご参加を。曲の予習をして気持ちに余裕を持ってゲイリー・ハインズ氏を迎えましょう。事前ワークショップ特典:【その1】コンサート本番時ゲイリー・ハインズ氏と観客の前で歌える!【その2】無料でコンサート鑑賞ができる!

●「英語」の歌い方がわかる! 歌詞が短く覚えやすい!

カラオケなどで洋楽ポップスに挑戦してみたけれど、言葉がうまく音にのらず消化不良だった経験はありませんか? 上達のコツはとにかく歌い慣れること。ゴスペルはポップスと違い歌詞も短く覚えやすいのが特徴。黒人霊歌から Sounds of Blackness のレパートリーまで短期集中でこなします。仕上がるまでハモリをつけながら繰り返し歌うのでワークショップ終了時には英語の歌がもっと好きに! 次回のカラオケが楽しみです。

●コンサートはプロミュージシャン・ゴスペル界のトップシンガーが脇を固めます。なのにこの値段!

1 回や 2 回の練習でコンサートなんて、身内が喜ぶお教室の発表会みたいになってしまうのでは? 様々な不安がよぎりますが、バックバンドは国内各地で活躍するプロのミュージシャンが参加。クワイア(聖歌隊)のパートリーダーには、経験豊富なゴスペルシンガーたちが脇を固めますので、観客の皆さんと一緒に迫力あるサウンドを楽しむことができます。また、コンサートでは日本のゴスペル界をリードするシンガーたちによるパフォーマンスタイムもありますので、聴きごたえもばっちり。入場料は手作りイベントならではの超低価格 1800 円! 聴けばわかるこの価値。入場料以上の収穫があることと思います。

●ジャズ、ソウル、R&B、HIPHOP…ブラック・ミュージックの源流を肌で感じられる

アメリカの近代音楽のルーツは黒人奴隷たちが歌いだしたゴスペル。さらに突き詰めていけば奴隷としてアメリカにつれてこられる前に生まれ育った故郷"アフリカ"。ゲイリー・ハインズ氏は自分のルーツを決しておざなりにせず、自分たちの創出する音楽を「ファミリー・オブ・アフリカン・アメリカン・ミュージック」という言い方を用いて、ゴスペルは勿論、スピリチュアルズ(黒人霊歌)、ジャズ、R&B、ヒップホップ、ソウルといった黒人音楽の全ての要素を取り入れ、幅広く豊かな音楽を作り出すことが最大の特徴と述べています。ワークショップにおいても、スピリチュアルズ(黒人霊歌)を大切に歌っていきます。彼はメジャーシーンでも多くの人に受け入れられ、世俗的なイメージで語られることありますが神様への感謝も忘れないクリスチャンでもあります。

◆GMWC って、どんな人たちがやっているの?

ゴールデンウィークの行事でおなじみの GMWC。ゴスペルの魅力にとりつかれた勇者たちが神様の GOOD NEWS をたくさんの人に伝えようとがんばっています。金性済先生に応援いただきながら、ゴスペルでたくさんの恵みを受け、神様から与えられたそれぞれの賜物を活かしながら、ゴスペルの魅力を伝えようと力をあわせて前進しています。ボランティアベースの運営なので、毎回いろいろな困難にぶつかりますが、さまざまな人に協力をいただきながら、大いなる神の御業(みわざ)を期待し、祈りと賛美を大切にしながら活動しています。

GMWC Committee <http://gmwc.jp>

いつも応援いただきありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします! by GMWC 共同代表&常任委員



kim
共同代表



haji
共同代表



sing
共同代表



sega
Music Div



inbe
Finance Div



reiko
Secretariat



micro
Fellowship Div



fu-ko
Publicity Div

詩と賛美と霊の歌により、感謝にあふれて心から神に向かって歌いなさい コロサイ人への手紙 3:16
"Let the word of Christ dwell in you richly in all wisdom, teaching and admonishing one another in psalms and hymns and spiritual songs, singing with grace in your hearts to the Lord." COLOSSIANS3:16

Spirituals Workshop & Concert -Guests Profile/ゲストプロフィール

市岡裕子 OSAKA <http://www.ichiokayuko.com/>

吉本新喜劇座長として人気を博した故・岡八朗の長女。4歳からピアノと歌を始め、高校時代にジャズ、黒人音楽に触れる。16歳の時うつ病により母親が自殺、父のアルコール依存症による新喜劇リストラ退団。さらに胃ガンと脳挫傷、弟の死と続く。家族の世話に追われる中でアメリカ留学を果たす。一時帰国後、96年再度米。ハーレム黒人教会で本場のゴスペルに出会い、99年ブルックリン・クイーンズ音楽院にてブラックミュージックを本格的に学びゴスペルシンガーの道を歩む。02年父娘共著の足跡を記した自叙伝『泣いた分だけ笑わしたる!』(マガジンハウス)を発売。2008年3月ゴスペル音楽を通して 神の愛を伝える働き市岡裕子国際ナショナルミニストリーを立ち上げ精力的な活動を続けている。

毎回のゲイリー・ハインズ氏一連のイベントでは、総合コーディネーターと通訳、リードシンガーなどを務める。

BEE 芦原 OSAKA <http://www.ej-gospel.com/> <http://www.hcn.zaq.ne.jp/gosjuku/>

1965年生。小学生の時に5つ上の従兄の影響で洋楽を聴く。ゴスペルにはまったのは20代後半からだが、初めは黒人音楽の勉強の為程度の関わり方だったので、まさに音楽から入ったクチ。友人だったMJ(松本ハジム)の影響で、本格的に取り組み、2000年にEverlasting Joy(以下EJ)を結成。EJは、「ゴスペル・アワーズ2008」で「最優秀賞」&「ベストソリスト賞」のW受賞を果たすなど国内随一の人気ゴスペルグループ。2003年、日本基督教団東神戸教会で受洗。クリスチャンとなり、一層ゴスペル道に進む。

EDGE OF ETERNITY プロデューサー/SMS GOSPEL CHOIR 主宰/OFFICE NOISE 代表/Edge Of Eternity プロデューサー。

Bro. taisuke NIGATA <http://spiritofsouth.oops.jp/>

2000年ニューオーリンズでゴスペルに出会い、2003年移住。2003年Baptist Church “Word of life”のPastor Murphyにて洗礼を受け、Music Minister, Conductor, Singerとして活躍。2004年同教会メンズ・クワイアを発足させ指揮に携わる。2004年9月帰国後は、新潟・大阪・東京を中心にクワイア指導、チャリティ等精力的に活動。毎週日曜のChurchサービスの音楽担当、クワイア練習では指揮、音楽構成、および、クワイアメンバーのボイストレーニングを担当。ゴスペル業界随一の働きマンとして異名をとる。GMWC男性クワイアの講師

黒澤まりさ TOKYO http://blog.goo.ne.jp/marisa050520maria_luisa

スペイン生まれ。幼い頃から踊りや音楽に興味をもち、4歳でクラシックバレエを習い始める。小学校時代からミュージカル「Jesus Christ Superstar」でのユダ役を務めるなど、ミュージカル的なお芝居に多数出演、表現する事に大きな喜びを感じ、さらに映画「FAME」の影響でミュージカル女優になりたいと決心する。ジャズ、タップ、モダンダンスを習い始め、あらゆるオーディションに参加するほか、クラシックバレエでも大きな舞台への出演を多数。'83年にスペインから日本へ帰国。'95年に交通事故で足を痛めたのが原因でダンスを全て辞め、ミュージカル女優への夢を諦める。'96年の1月に友達の誘いでGOSPELと出会い、同じ年のアメリカ基地内開催のWorkshop(相模原 Gospel Music Workshop。現在 TPW で活躍している Andre Reynolds と Prince Yelder がゲスト講師)でGOSPELのパワーと感動に圧倒され、さらに深い賛美を求めていく。'99年TVOPに参加し、さらに活動の場を広げる。現在も多くのクワイアでの参加、ディレクター、ゴスペルシンガーとして活躍中。

兼松弘子 GIFU <http://www.kanematsukikaku.com/>

幼少の頃よりジャズや映画音楽にふれ、カナダ大学留学中にはクワイアやコラールで活動。帰国後は海外のゴスペルアーティストのツアーに参加する傍ら、自らもシンガーとして全国で活躍し「ジャパニーズ・コンチネンタルズ」を設立。GMWAにおいて全国各地でゴスペルクワイアの指導にあたる。2001年ソロアルバム『Praise the Lord』をリリース。2003年ドイツ、アメリカでソロライブを行うなど、海外においても高い評価を受ける。2006年亀淵由香氏と共演、その歌唱力とクワイア指導力を絶賛される。(有)兼松企画/Voices of Vision 代表/名古屋芸術大学音楽文化総合学科非常勤講師。

M4U AICHI <http://blog.goo.ne.jp/m4ujesuslovesus>

2001年、Radio i 出演をきっかけに結成。音楽(Music)を通して聖書のメッセージ(Message)を聞いてくださる方々に(For you)伝えるために歌っていくという意味を込め、M4U(エム・フォー・ユー)と命名。東海地区の教会やライブハウスを中心に活動。2007年3月に1stアルバム”JUST FOR YOU”をリリース。2008年4月より、リーダーの美里が転居のためM4Uを卒業し、寿美子・SEGA・南・佐藤美香(本イベントのチーフ音楽ディレクター)の4人で活動を再スタートした。力強くも温かい歌声、イエス・キリストのメッセージをわかりやすく伝える歌詞とソウルフルなサウンドは老若男女を問わず受け入れられている。現在は、それぞれがゴスペルクワイアのディレクター・ソリスト、ピアニスト等として活動の場を与えられている。

～経験豊富・多彩なゴスペル・アーティストがイベントをバックアップ!～

Spirituals Workshop & Concert -Musicians Profile/ミュージシャン・プロフィール

Larry Ransome (ラリー・ランソム) ドラムー

米国ニューヨーク生まれ。幼少の頃から教会でドラムと叩き、ティーンネイジャーからニューヨークで活動を始め、いろんなジャンル (R&B・ROCK・SOUL・BLUES・LATIN・JAZZ etc) の一流プレイヤー、ジャズギターの大御所ジョージ・ベンソンなどとも共演。またこの頃、ドラマーだけでなく、プロデューサー、ソングライター、アレンジャーとしても活躍する。1997年10月に来日後、関西を中心にステージやライブシーンで活躍し、現在は大阪在住で日米のアーティスト達と有名ライブハウスやレコーディングをこなし、またテレビ、ラジオ、雑誌等でも精力的に活動中。関西ではゴスペルシーンに欠かす事が出来ない本場の黒人ドラマーとしても有名。

Warren Alston (ウォレン・オルストン) ピアニスト

米国 NY ブルックリン生まれ。8歳からピアノに親しみ、バークレイ音楽大学と南カリフォルニア大学で本格的に音楽を学ぶ。アメリカ、カナダ、メキシコ、ヨーロッパ各地で演奏活動を行い、現在ではピアニストのみならず各地でゴスペルクワイアのディレクター、ヴォーカリスト、作曲家としても幅広く活躍中。日本各地の様々なコンサート、イベントに数多く出演し、多忙な日々を送っている。2008年4月より新しく名古屋の中心地「栄」で新しく”New Life Gospel Choir” (名古屋中央教会) を立ち上げますます活動の場を広げている。

Derrick C. Thomas (デリック・トーマス) ベーシスト

米国ミシガン州デトロイト生まれ。伝説のベースプレイヤー、ジェームス・ジェマーソンに魅了されミュージシャンへの道を歩み始める。ベースプレイヤーとしてライブ、コンサートツアーで活躍する一方シンガーとしても広く活動始める。彼のエネルギッシュでエキサイティングなパフォーマンスはオーディエンスを魅了します。

佐藤 美香 (さとみか) ピアニスト/スピリチュアルズ・ワークショップ&コンサート音楽ディレクター

幼少よりエレクトーンを始め、10歳で教会での演奏を始める。14歳のころ、名古屋プレイズナイト (小坂 忠代表) の演奏者オーディションで選ばれ、毎月演奏を始める。19歳でゴスペルに出会い、以来名古屋・美濃加茂・豊田・岡崎・豊川などで、ディレクター・ピアニストとして活動中。'02年1月ゴスペルプロダクションミックを立ち上げ、ゴスペルコンサートや、ワークショップの企画制作を手がける。また、'02年3月より、FMラジオ”Radio i” の人気番組「i's Party」をきっかけに結成されたゴスペルユニット「M4U」のキーボーディスト・アレンジャーを担当し、数々の楽曲のアレンジや、作曲も行っている。海外においては、'04年8月、世界最大といわれるGMWA (Gospel Music Workshop of America) で日本チームのピアニストを務める。

What's GMWC ?

GMWC とは

◆NAGOYA 周辺ゴスペル History

90年代後半映画「天使にラブソングを」、ミュージカル「Mama, I want to sing」などが日本でブレイクし、東京を中心にゴスペルが少しずつ認知されるようになりました。中部地域では1999年に名古屋で200名近くが参加した大型のゴスペルワークショップ (体験講座) & コンサートが行われブームに火がつけました。これは、日本ゴスペル界第一人者であるラニー・ラッカー氏によるゴスペルワークショップ&コンサートで1999年から2001年まで3年続きました。当時の参加者たちの中からたくさんの指導者も生まれ、今では名古屋をはじめ各地で教会、カルチャースクール、自主運営サークルとさまざまなゴスペル愛好団体・グループが活動を繰り広げています。10年近く経過した今も、名古屋には100名を超えるゴスペル団体も多く存在し、ゴスペルはただの流行では終わっていないことがうかがわれます。最近は宗教の音楽という枠を超え、学校や公共団体でも喜びを享受する歌としてゴスペルをとりいれるところが増えてきました。こどもからお年寄りまでが思い思いに楽しめるゴスペル…。オーソドクスな合唱とは一味違うリズムや構成、大勢の仲間と声を合わせる醍醐味、歌詞による励ましや癒しなど、歌う人も聴く人もゴスペルを通じさまざまな贈り物を受け取ることができます。

◆GMWC (Gospel Music Workshop of Chubu / ゴスペル・ミュージック・ワークショップ・オブ・中部) とは

「名古屋とはし」という言葉があります。コンサートなど東京・大阪・福岡では開催されるのになぜか名古屋は素通り。ゴスペルの世界も同様。大物ゴスペルミュージシャンが足を止めることが少ないこの地域。なかなか良質な情報も手に入りにくいのが現状です。

名古屋での大型のワークショップイベントは2001年を最後に一時休眠しましたが、ゴスペルがもたらす喜び、感動、励まし、もろもろのパワーに魅入られた地元のゴスペル・ラヴァーたちが、あの感動をもう一度！と力をあわせ2005年にワークショップを再開。名称もGMWC (Gospel Music Workshop of Chubu) と「中部」の名前を冠し、中部全域のゴスペルを活性化させていきたいという願いを込めてスタートしました。

アメリカで40年以上の歴史を持つ、GMWA (Gospel Music Workshop of America) をお手本にしながら、「ゴールデンウィークは名古屋でゴスペル」を合言葉に、2005年より毎年欠かさず200名規模のワークショップ&コンサートを開催しています。東京や大阪、アメリカまで行かないと良質なゴスペルイベントに参加するのは無理とあきらめていた方々に貴重な体験のチャンスを提供すると同時に、中部圏を中心に個々に活動するグループ同士の交流や情報交換、講師の新しい足場作りのお手伝いをしています。年に1度の大型ワークショップの他、国内外のゴスペルアーティスト達の中部エリアでの活動のサポート・イベントの後援などもしています。最近では、新潟の Bro.taisuke を講師に招き男性のみのクワイア発足。女性が圧倒的に多い日本のゴスペル界において、男性がのびのびと歌える場所として徐々にメンバーが増えつつあります。裾野を広げつつあるゴスペル界ですが、GMWCでは流行やファッションとしてではなく、そこにある本質を多くの方に届けようとラニー・ラッカー氏が提唱する”Music (音楽) ”、”History (歴史) ”、”Christianity (キリスト教の土台) ”を大切にしています。



MORE INFORMATION about Mr. GARY HINES

GARY・HINES の音楽観・人生観

「私の目標は、正当な黒人音楽のアンサンブルをアフリカン・アメリカンの音楽として全ての音楽の範囲に渡り、正しい背景において演奏することです」

下記は 2005 年リバイバル新聞記事より

ゲイリー・ハインズ氏（サウンズ・オブ・ブラックネス）／アメリカ ヨンカース・ニューヨーク州出身 ミネアポリス・ミネソタ州在住／1952年6月生まれ／92、94、98年にそれぞれグラミー賞をサウンズ・オブ・ブラックネスで受賞。その他に、3回のステラー賞、ソウル・トレイン賞など多数を受賞。

10月7日～9日の三日間の日程で茨木市立ローズWAMホールと豊中市立男女共同参画推進センター「すてっぷホール」で、過去にグラミー賞を三度受賞した経験を持つ全米を代表するコンテンポラリー・ゴスペル・グループ、“サウンズ・オブ・ブラックネス”のリーダー兼ディレクターである、ゲイリー・ハインズ氏によるゴスペル・ワークショップが開催された。その後、10月10日には新潟でワークショップとライブコンサートが行われた。

今回の来日は、元吉本新喜劇座長、故岡八朗の長女でゴスペルシンガー、市岡裕子さんの招き。彼女が1998年ニューヨークに滞在していた時、ホイットニー・ヒューストンの母シシー・ヒューストンのオルガニストであるウィルダー・ハーディングス氏にゴスペルレッスンを受けていた。彼女は、そこでレッスンに使われた「Hold On」という曲に出会い励まされた。「そこに留まりなさい。頑張りなさい！かならず変化が来るから」というフレーズに励まされ、その曲の入ったCDを何百回も聴いた。これが、サウンズ・オブ・ブラックネスのCDだったのだ。ハーレムのアポロシアターに彼らを見に行き、さらに感激を受け、2004年1月にミネアポリスに行く事になった時に、彼女はメールをしてみたという。しばらく返事がなかったが、ミネアポリスに出発する朝に「良かったら私たちのリハーサルに来て下さい」とのメールの返信があった。バスポートを空港に

持って行くのを忘れるほど興奮した市岡さんは、実際に彼らに会って「ゴスペルワークショップを是非日本でして欲しい」と思い、昨年10月に初めてゲイリー・ハインズ氏を招いての企画を行った。その時に、参加者に大きな感動と勇気を与える事が出来た経験から、市岡さんは「父（岡八朗）を7月に亡くし、一人ぼっちになった今こそ、ゴスペル音楽を通して沢山の人の心に愛と勇気と希望を伝えたい」と、今回の企画を再び行うことにした。市岡裕子さんと交友のあるエバラスティングジョイのリーダーであり、ゴスペル塾塾長のBEE芦原さんによる協同企画。今回も、ワークショップは大盛況でそのレベルの高さに参加者は驚かされていた。特筆すべきは、新潟市民会館でのライブコンサートには900人もの人が集まった。アメリカはニューオーリンズの黒人教会で音楽役員として指揮とソロシンガーとして活躍していた臼井泰輔さんが、新潟帰国後に立ち上げてまだ一年の新潟マスコクワイヤーのメンバーを中心に125名のクワイヤーによる素晴らしい舞台となった。ニューオーリンズのチャリティーコンサートということでも注目を浴びた。

サウンズ・オブ・ブラックネスの創立者でもありリーダーのゲイリー・ハインズ氏は、過去3回のグラミー賞と3回のステラー賞を受賞した人には一見すると見えない。それほどまでに、柔和で謙遜の証人のようだ。人々は、「こんなに良い人とは今まで会ったことがない」と口をそろえて言う。暖かさがにじみ出ている。実は、若かりし頃にはボディビルをしていて、Mr.ミネソタに選ばれた事もある。

サウンズ・オブ・ブラックネスは、1971年に当時彼が生徒であったマカレスターカレッジの学生グループから始まり、ゴスペルチャートのトップまでのし上がった。10人のバンドメンバーと15人のポイスメンバーで構成されている総勢25名のアンサンブルグループ。彼らは、オールスタイルのアフリカン・アメリカン音楽を幅広く世に紹介し続けている。「私の目標は、正当な黒人音楽のアンサンブルをアフリ

カン・アメリカンの音楽として全ての音楽の範囲に渡り、正しい背景において演奏することです」とゲイリー・ハインズ氏は語る。また、「わたしは、西アフリカ音楽から、農場での歌、労働歌、黒人霊歌、ブルース、ジャズ、ゴスペル、レゲエ、ラグタイム、R&B、ヒップホップ、ジャズ、ロックンロール等全ての範囲の音楽を手掛けたかったのです。何故なら、これら全ての音楽が我々の経験を通して発信された音楽だからです。ブルースの傷みを分かってはGlory Hallelujahを理解する事は出来ません。それが私たちのグループの名前の意味であり、各スタイルの音楽は黒人音楽の特徴であり、黒人音楽を集結したものです」と彼らのスタイルを語る。

彼は、ジミー・ジャム&テリー・ルイスとチームを組み、プリンスからシャネット・ジャクソンまで多くの有名シンガーの音楽のプロデューサーを手掛け、マーティン・ルーサー・キング牧師の記念日にショーを行うなどの活躍をする。ゴスペルやR&Bのヒットチャートにもたびたび登場する。また、世界各地へのツアーを行っている。彼らのしっとりしたコーラルアレンジや素晴らしいリズムセクション、そして、メンバーはアフリカン・アメリカンのプライドと威厳を持って活動している。そして、彼ら自身が生まれた地域に出来るだけの努力を惜しみなく還元している素晴らしいさを持っている。

「色々な国の文化や伝統が違いますが、自分達が持っているものを押し付けるのではなく、私たちの行動をもって愛を示すことが大切だと思います。目には見えないかもしれませんが、雰囲気や態度で愛を表したいと思っています。スティービーワンダーは、「音楽は世界を超えたメッセージ」だと言いました。音楽は肌の色や文化、伝統を超えることができるものだと思います。そういうものを日本で流せたらいいと思います」と日本に来てできることについて語る。都市部だけでなく田舎にも足を伸ばして福音を携えるその行動と姿勢によって神が祝福し、多くの観客が集まったのだろう。

GMWC コンテンポラリーゴスペル史講師、古澤氏のサイト”Global Gospel Communication”より抜粋

ゲイリー・ハインズ氏によるワークショップの特徴は？

★理論的で丁寧なヴォイス・トレーニング★自らを「コンダクター」と呼ぶ(“ディレクター”と言う呼称が通常使われる)★アフリカン・アメリカン・ミュージックの相関図チャートなど資料を使った解説★自らのヒット曲だけではなく、アフリカン・アメリカンのルーツから現代までの歴史を辿るワークショップの選曲★上記と同義だが、それ故に、日本のワークショップではまず教わる事の無い、ブルース・フィーリングに満ちたゴスペルや、ブルー・ノートやコードが組み込まれた黒人霊歌などを学べる★ベース・パートを楽曲の土台と捉え、重要視した指導(「多くのクワイヤーがベース・パート抜きでやってるけどそれは間違いだ」)★声を楽器として捉え、具体的なイメージを与える(ここではトロンボーンのように、ここではドラムのように、トランペットのように、等)★時間に正確 <http://freett.com/globalgospel/jpdiary/2006/10.9.2006.html>

FAX TO >>>052-589-6006 GMWC 事務局行き

Spirituals Workshop & Concert in NAGOYA by Mr. Gary Hines

- GMWC Autumn -

「スピリチュアルズ・ワークショップ」参加申込書

記入日： 月 日

ローマ字(姓・名)	(姓・Family Name)	(名 First Name)	年齢()才	
お名前(姓・名)	(姓)	(名)	ゴスペル経験 有・無 性別 男性・女性	
ご住所 アパート名など	〒 ー ー 都・道 府・県			
自宅 TEL	ー ー	携帯 TEL	ー ー	
E-mail	@			
(注)できるだけ大きな字で、ハイフン・アンダーバー・数字などは特にわかりやすくご記入ください。				
ワークショップ & コンサート 参加方法 参加費等 振込内容確認	事前ワークショップに参加 (①11/2 18:00-20:30 ②11/3 10:00-12:00) 参加する日程にチェック → <input type="checkbox"/> ①11/2 <input type="checkbox"/> ②11/3 ※①②両方参加、①または②どちらかの参加でも同料金です。		一般	ユース(22歳以下)
			<input type="checkbox"/> 5000円	<input type="checkbox"/> 3000円
	スピリチュアルズ・ワークショップに参加 11/3 13:30-16:00 ゲイリー・ハインズ指導		<input type="checkbox"/> 5000円	<input type="checkbox"/> 3000円
スピリチュアルズ・コンサートに出演 ※コンサート出演条件:事前ワークショップ、スピリチュアルズワークショップ両方参加した人に限ります。			無 料	
参加費支払方法 振込(予定)日等	<input type="checkbox"/> 銀行振込 月 日	銀行より	振込金額	円
<input type="checkbox"/> ワークショップ初回参加時に現金にて支払い予定。				
特記事項	所属クワイア・教会、その他連絡事項などありましたらご記入ください。			

※振込先:三菱東京UFJ銀行 名古屋駅前支店 普通・5860815 GMWC事務局(ジーエムダブルシージムキョク)

※振込み手数料は各自ご負担ください。 ※一人1枚でお申込みください

[メールでお申し込みの場合は]:メール宛先: gary@gmwc.jp (←@は半角文字に置き換えて利用してください。)

※form@gmwc.jpに空メールを送るとメール用簡易フォームが自動返信されるので便利です。

[ホームページから]:WEB 画面から必要事項を記入して申し込むこともできます。詳細は GMWC 公式サイト <http://gmwc.jp> へ

<問合せ・送付先>

GMWC 事務局

451-0051 名古屋市西区則武新町 3-1-63-404 長田方
TEL&FAX 052-589-6006 2008@gmwc.jp <http://gmwc.jp>
Gospel Music Workshop of Chubu